

(証券コード 7702)

株式会社 ジェイ・エム・エス

# 2026年3月期 連結決算の概要

---

2026年5月12日

## 連結：減収減益

売上高 65,845 百万円(△ 3,904 百万円)  
営業利益 381 百万円( △ 491 百万円)

売上： 日本国内はがん治療領域や栄養領域が継続伸長したものの、海外では血液・細胞領域が減少したことにより減収

利益： 原価低減及び販管費節減の効果があるものの、海外主力製品の減少影響により減益

## システム別売上高

血液・細胞： 北米向け成分献血用回路やアフリカ及びアジア向け血液バッグが減少

透析： 北米及び欧州向けAVF針（血液透析用針）が好調に推移したものの、中国向け血液透析装置や欧州向け透析用チェアが減少

## 地域別売上高

アジア： 中国国内の血液透析装置及び急性血液浄化装置、韓国国内の輸液セットが減少

北米： AVF針が好調に推移したものの、大手顧客の在庫調整により成分献血用回路が減少

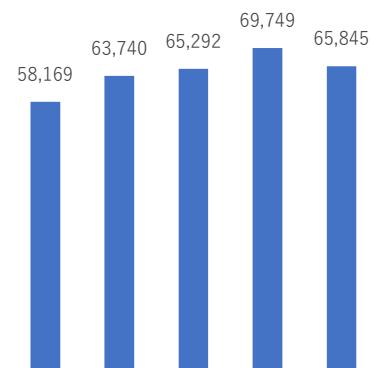
年間配当は1株当たり17円を予定（中間配当8.5円、期末配当8.5円）

構造改革の一環として進めている海外生産拠点の再編に伴い、韓国の生産拠点において事業再編損を特別損失として計上した結果、当期純損失

(単位：百万円)

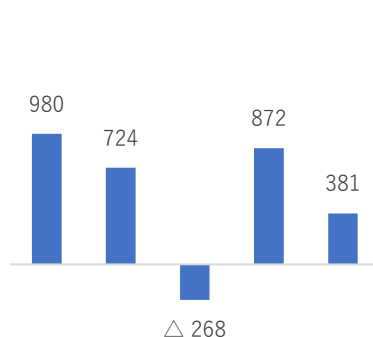
	2025年 3月期	2026年 3月期	増減額	増減率
売上高	69,749	65,845	△ 3,904	△ 5.6%
営業利益	872	381	△ 491	△ 56.3%
経常利益	514	356	△ 158	△ 30.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	89	△ 783	△ 873	—

売上高



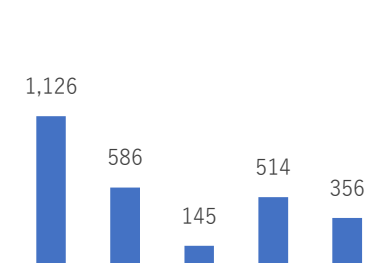
2022.3 2023.3 2024.3 2025.3 2026.3

営業利益



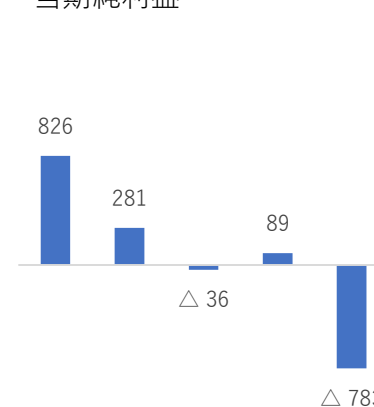
2022.3 2023.3 2024.3 2025.3 2026.3

経常利益



2022.3 2023.3 2024.3 2025.3 2026.3

親会社株主に帰属する  
当期純利益



2022.3 2023.3 2024.3 2025.3 2026.3

# セグメント業績（拠点別、経常利益ベース）

日本： 薬剤調製・投与クローズドシステムや摂食嚥下関連用品が堅調に推移したものの、中国向け血液透析装置及び急性血液浄化装置が減少したことにより減収。支払手数料や研究開発費等の増加が加わり減益

シンガポール： 北米向け成分献血用回路やアフリカ及びアジア向け血液バッグが減少したことにより減収。主力製品の減収影響を受けたものの、コミッション及び為替差損の減少により赤字幅は縮小

（単位：百万円）

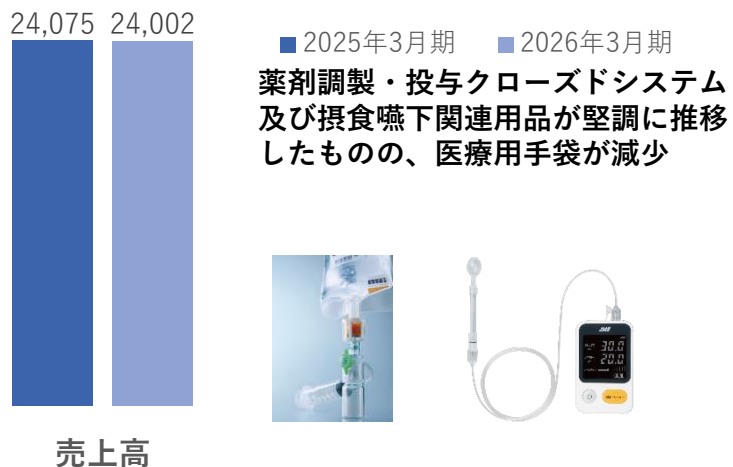
		2025年 3月期	2026年 3月期	増減額	増減率
日本	売上高	46,030	44,759	△ 1,271	△ 2.8%
	利益	1,483	949	△ 533	△ 36.0%
シンガポール※	売上高	26,539	23,726	△ 2,812	△ 10.6%
	利益	△ 200	△ 47	152	—
中国	売上高	4,163	3,985	△ 177	△ 4.3%
	利益	△ 28	87	116	—
フィリピン	売上高	3,661	3,335	△ 326	△ 8.9%
	利益	△ 415	△ 727	△ 312	—
ドイツ	売上高	4,469	3,956	△ 513	△ 11.5%
	利益	454	473	18	4.1%
その他※	売上高	5,048	5,929	881	17.5%
	利益	△ 385	24	409	—

※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。

※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイ、中国の一部の現地法人の事業活動を含んでいます。

(単位：百万円)

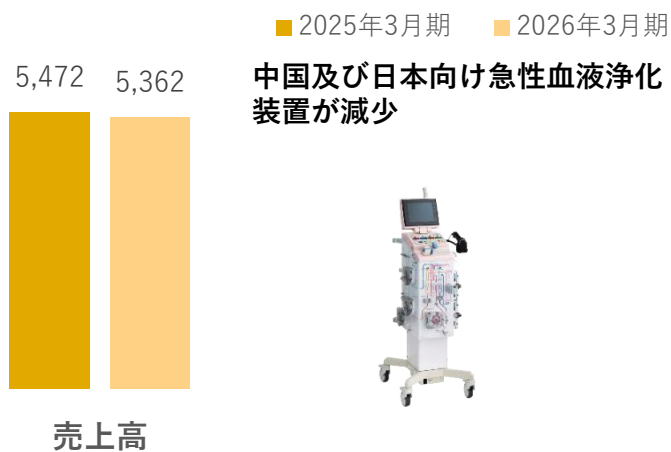
## 輸液・栄養領域



## 透析領域



## 外科治療領域



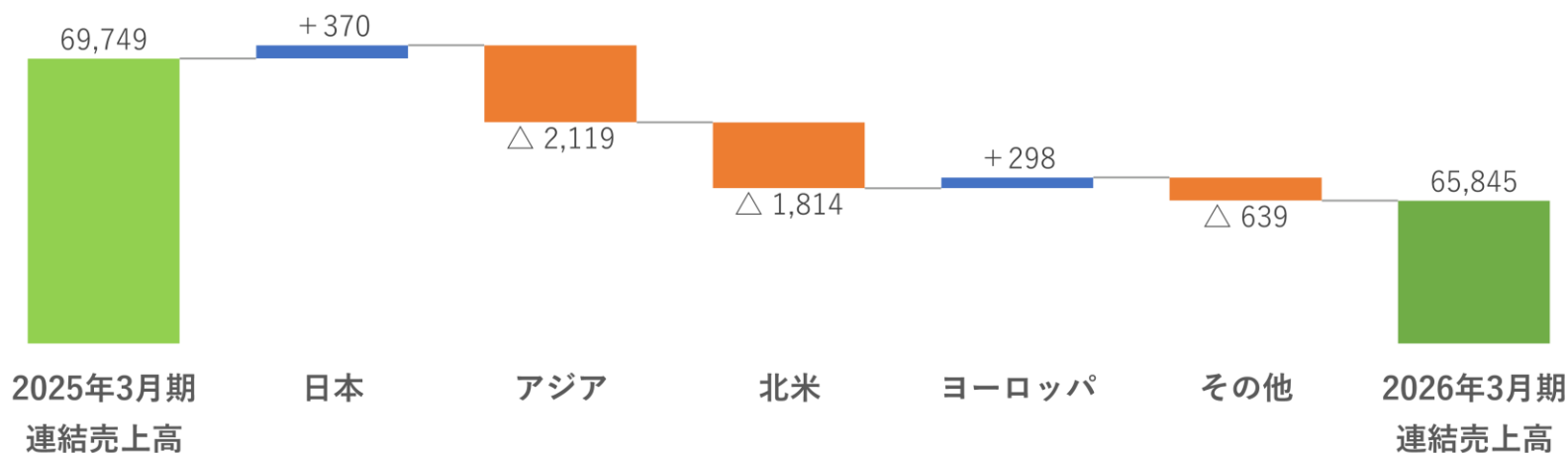
## 血液・細胞領域



日本は薬剤調製・投与クローズドシステムや摂食嚥下関連用品が引き続き伸長し増収、ヨーロッパはAVF針や成分用献血回路が堅調に推移し増収、一方、アジアは血液透析装置及び急性血液浄化装置、北米は成分献血用回路が低調に推移し減収

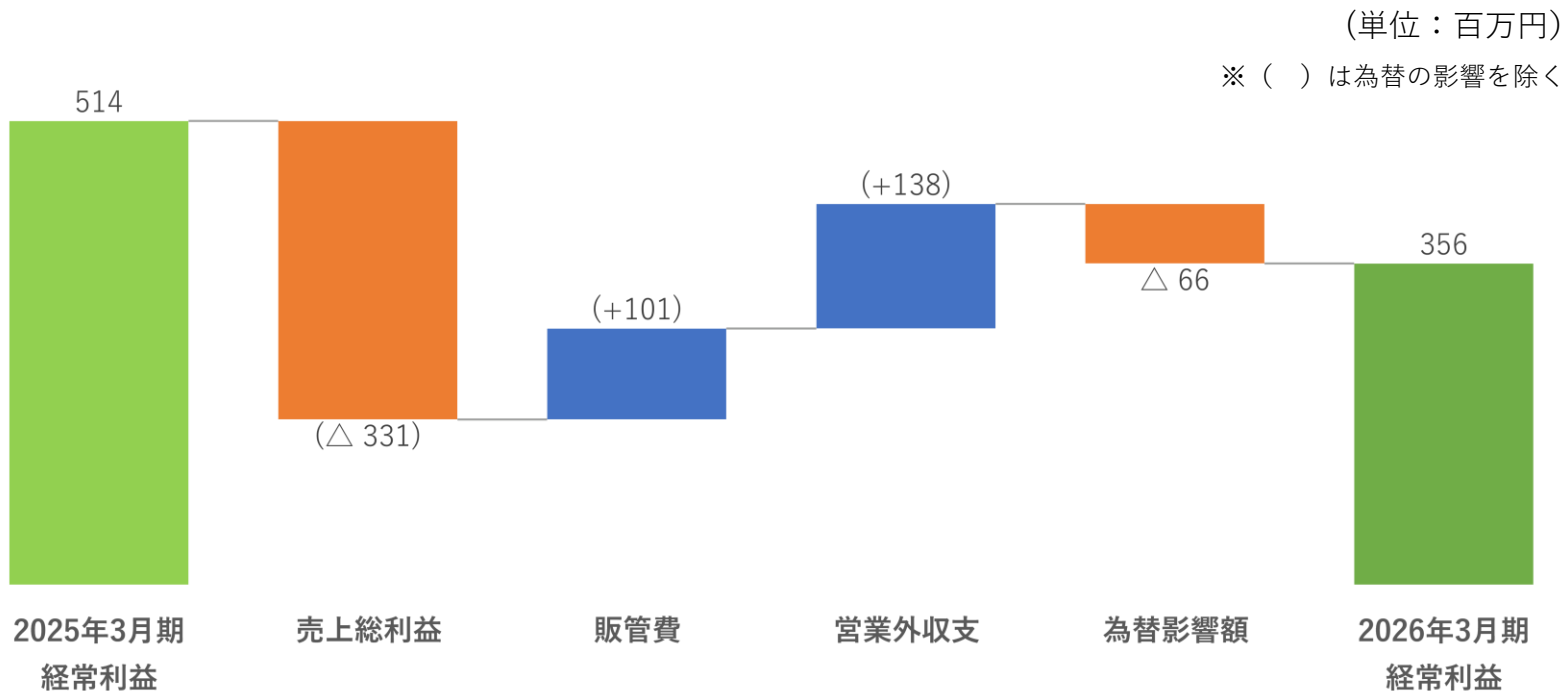
(単位：百万円)

	2025年 3月期	2026年 3月期	増減額	増減率	売上高 構成比
日本	39,821	40,192	370	0.9%	61.0%
アジア	12,325	10,206	△2,119	△17.2%	15.5%
北米	7,197	5,383	△1,814	△25.2%	8.2%
ヨーロッパ	7,699	7,998	298	3.9%	12.1%
その他	2,704	2,065	△639	△23.7%	3.1%



# 経常利益増減要因

海外主力製品の減収に伴う売上総利益の減少が大きく影響し、販管費の低減や持分法による投資利益はあったものの、為替差損の計上もあり、経常利益は減少



為替レート (期中平均)

	米ドル	ユーロ	シンガポールドル
2025年3月期	152.58 円	163.95 円	113.99 円
2026年3月期	150.77 円	169.00 円	116.97 円

(単位：百万円)

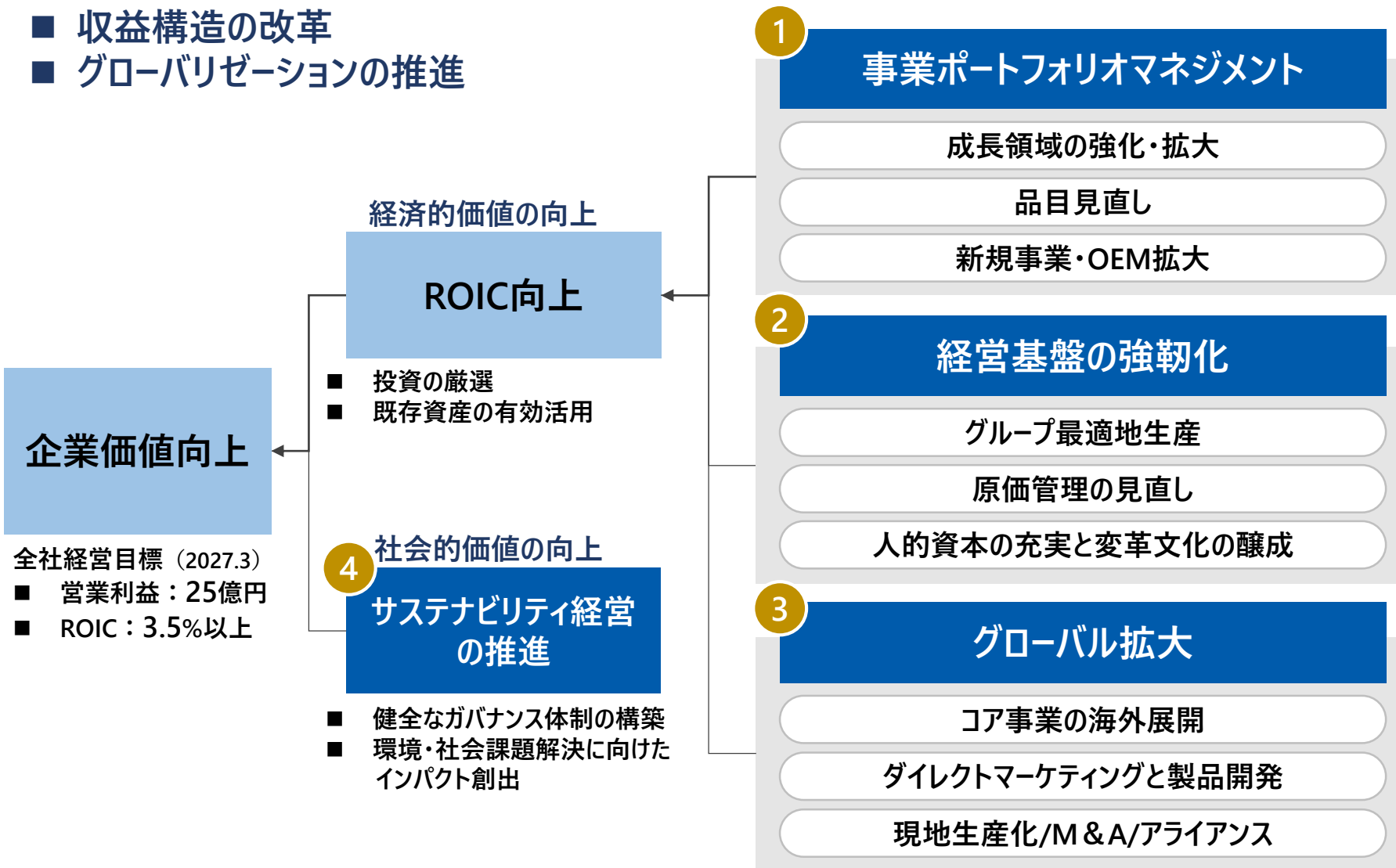
	2025年 3月期	2026年 3月期	2027年 3月期予想	対前期 増減率
売上高	69,749	65,845	66,000	0.2%
営業利益	872	381	1,000	162.1%
経常利益	514	356	900	152.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	89	△783	600	—

※業績予想にあたっての前提として、為替レートを、  
1米ドル=150円、1ユーロ=175円、1シンガポールドル=117円としております。

- 売上：** 日本国内では、一部商品の取扱中止があるものの、薬剤調製・投与クローズドシステムの診療報酬加算による需要拡大により増収を見込む  
海外では、韓国での取扱い品目減少による減収があるものの、北米・欧州向けAVF針の販売伸長、成分献血用回路の需要回復により増収を見込む
- 利益：** 主力品・注力品の販売強化により増益を図る一方で、中東情勢の緊迫化を背景とした原材料・エネルギー価格の高騰に対し、価格転嫁、コスト削減、販管費の効率化を徹底することで、収益性を確保しながら製品の安定供給を実現する

### 基本方針

- 収益構造の改革
- グローバリゼーションの推進



がん治療・在宅治療領域での事業拡大と、生産拠点の構造改革による収益基盤強化を推進

## 【成長領域】：がん治療

### ①閉鎖式薬剤移注システム「ネオシールド」の市場拡大

- ▶ シンプルで使いやすいデザインが評価され、堅調に市場シェアを拡大。

### ②抗がん薬投与時の新加算評価 → 増産計画を推進

- ▶ R8年診療報酬改定において抗がん薬投与時の加算が付与。需要拡大を見込み、増産体制の構築を推進中。



## 【新規領域】：在宅治療

### ①JMS帝人ホームメディカルケア(株) 運営開始

- ▶ 2025年4月より運営開始。腹膜透析療法の普及促進。

### ②「患者価値最大化」戦略の着実な進展

- ▶ 両社の強みを生かしたシナジー創出、施策展開により腹膜透析関連売上高は過去最高水準を達成。



## 【生産拠点の構造改革】

### ①JMS韓国を製造拠点から販売会社へ事業転換

- ▶ グループ製品の現地マーケティング・販売に特化し、グループ収益を最適化。

### ②構造改革費用として約9億円を特別損失に計上

- ▶ 製造設備の廃棄・減損のほか人員適正化も進め、製造拠点からの転換でコスト構造を抜本的に見直し。



中期経営計画2027を締めくりつつ、収益性向上に向けた構造改革を加速し、持続的成長を実現する次期中期経営計画へ移行します

## 重点施策 (最終年度)

### 事業価値最大化のための戦略実行

- ✓ 新規・成長施策の加速  
がん領域での成長
- ✓ 収益基盤の強化  
付加価値の最大化/価格転嫁推進/業務効率化
- ✓ グローバル事業の収益拡大  
コア事業（血液/がん治療）の海外展開・販路拡大への注力

## 次期中期経営計画へ

### 戦略的投資と経営基盤の高度化

- ➔ 新規・成長領域への投資拡大  
中長期的な収益基盤を支える事業領域の育成・強化
- ➔ 経営目標に直結した重点施策への進化  
優先度・実効性を見極めた施策への集中投資
- ➔ 資本効率経営指標への転換  
全体最適な経営判断が可能な仕組みづくり

常に医療現場の課題解決を目指し  
製品・サービスを開発する  
ソリューションカンパニー

■ 中期経営計画2027 (2024~2026年度)

■ 次期中期経営計画

2024

2027 (中期経営計画2027終了)

長期ビジョンの実現)

## 2025年5月

### 東レ株式会社との共同開発による長時間心電図記録器 110e の供給を開始

～14日間の連続測定可能な長時間心電図記録器～



## 2025年6月

### 腹膜透析療法における新たな在宅医療支援機能の拡充について

～スマートフォンを活用した、患者さんと医療従事者の情報共有支援～



## 2026年2月

### 医療メーカー4社による国内医療用製品物流における共同配送を開始

～「医療流通対策研究会」を設立し、持続可能な医療・ケアを目指す～



## 2026年2月

### 成年女子ソフトボールチーム「Citrine SHIMANE」とのパートナーシップ契約を締結

～出雲工場から地域スポーツを支援、島根のスポーツ振興に貢献～



## 2026年3月

### 経済産業省「健康経営優良法人2026」に認定されました



2026  
健康経営優良法人  
KENKO Investment for Health  
大規模法人部門



人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。